

■欧州：国際再生可能エネルギー機関（IRENA）が発足

2009年1月26日、国際再生可能エネルギー機関（IRENA、International Renewable Energy Agency）の発足式典がドイツのボンで開かれた。IRENAは、ドイツ政府が主導し、スペインとデンマークの協力を得て設立された機関で、参加国に対する助言や技術移転を通して、世界規模で再生可能エネルギーの開発を推し進めることを目的としている。ドイツのシグマ・カブリエル環境大臣は、「再生可能エネルギーの開発に国際的な支援を提供するであろう」、また、ハイデマリー・ヴィチョレクツォイル開発大臣は、「途上国がクリーンエネルギーにアクセスできる道を切り拓くものである」と述べた。式典には各国から100人以上の関係者が出席した。2009年の6月には、議長の選出や本部所在地の決定が実施される予定であり、ドイツ、オーストリア、スペイン、デンマーク、ケニア、アブダビなど多数の国が、本部の誘致に意欲を示している。